

カタログ予算事業について

■中小企業省力化投資補助事業について

【概要】

- IoT、ロボット等の人手不足解消に効果がある汎用製品を「カタログ」に掲載し、中小企業等が選択して導入できるようにすることで、簡易で即効性がある省力化投資を促進する。

【予算額】

- 1,000億円(全業種の合計予算)

【補助率・上限額】

従業員数	補助率	補助上限額(大幅な賃上げを行う場合)
5人以下	1/2	200万円(300万円)
6~20人以下		500万円以下(750万円)
21人以上		1,000万円以下(1,500万円)

【受付スケジュール】

- 第1回受付:2024年6月25日から7月19日(終了)
- 第2回受付:2024年8月 9日から9月24日まで
- 2026年9月頃まで複数回行われる予定

※機器を導入する申請者と登録製品販売事業者が、申請受付システムを通じて共同申請する

※事業実施主体:中小企業基盤整備機構

事務局業務 :全国中小企業団体中央会を幹事社としたコンソーシアム(申請窓口、審査、事務手続)

【タブレット型給油許可システム】

- タツノ製品については受付期間内で申請可能。
- 照会先:(株)タツノ 各営業所(一覧添付)

※他メーカーは、型番登録及び販売事業者登録終了後、申請可能。

中小企業省力化投資補助事業

製品カテゴリ

令和6年7月29日

独立行政法人 中小企業基盤整備機構

目次

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス	
A	清掃ロボット	5	飲食サービス業、宿泊業、製造業、卸売業、小売業	清掃業務	2
B	配膳ロボット	2	飲食サービス業、宿泊業、製造業、卸売業	配膳業務、搬送業務	4
C	自動倉庫	1	倉庫業、卸売業、小売業、製造業	保管・在庫管理、入出庫	6
D	検品・仕分システム	2	倉庫業、卸売業、小売業、製造業	資材調達、加工・生産、検査、保管・在庫管理、入出庫	8
E	無人搬送車（AGV・AMR）	5	倉庫業、卸売業、小売業、製造業	資材調達、加工・生産、検査、保管・在庫管理、入出庫	10
F	スチームコンベクションオープン	67	飲食サービス業、小売業、宿泊業	調理	12
G	券売機	35	飲食サービス業	注文受付、請求・支払、顧客対応	14
H	自動チェックイン機	2	宿泊業	受付案内、予約管理、請求・支払、顧客対応	16
I	自動精算機	1	飲食サービス業、小売業	請求・支払、顧客対応、注文受付	18
J	タブレット型給油許可システム	5	小売業	給油	20
K	オートラベラー	3	製造業、倉庫業、卸売業、小売業	加工・生産、梱包・加工、保管・在庫管理	22
L	飲料補充ロボット	0	小売業	飲料補充業務	24
M	デジタル紙面色校正装置	0	印刷・同関連業	印刷	26
N	測量機	0	建設業、専門・技術サービス業	調査・測量、施工、検査	28
O	丁合機	0	製造業、倉庫業、卸売業、小売業	加工・生産、梱包・加工、出荷、梱包・加工、出荷、販売・納品	30
P	印刷用紙高積装置	0	印刷・同関連業	印刷	32
Q	インキ自動計量装置	0	印刷・同関連業	印刷	34
R	段ボール製箱機	0	製造業	加工・生産	36
S	近赤外線センサ式プラスチック材質選別機	0	製造業、廃棄物処理業、卸売業	分別業務	38
総件数		128			

製品カテゴリ

登録製品数 対象業種

対象業務プロセス

J

タブレット型給油許可システム

5件

小売業（ガソリンスタンド）

給油

2024年7月26日時点

例えばこんな場面で、

- セルフ式ガソリンスタンド（顧客自らが給油するガソリンスタンド。以下、セルフSS）において、事務所内でしかできなかった給油許可が事務所内に限らずSS敷地内であれば可能になり、給油許可専用のスタッフを事務所内に常駐させる必要がなくなります。
- スタッフが他の業務に従事しながら給油許可ができるようになるため、待機時間の削減および人時生産性の向上が見込めます。

活用イメージ



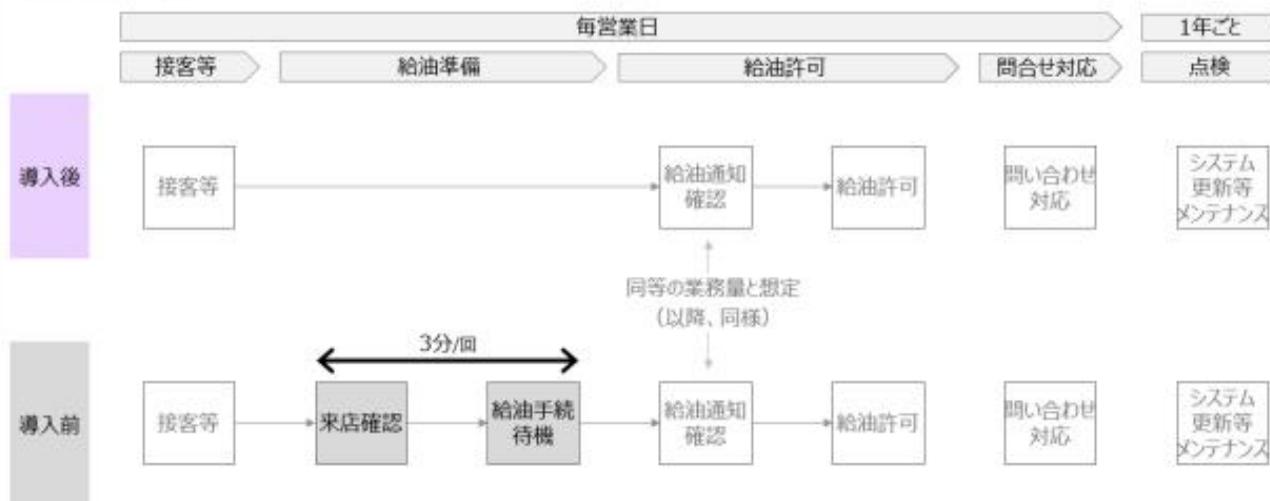
※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

来店確認、給油手続き待機が不要になります。

- 機器処理
- 人手処理（導入後追加）
- 人手処理（機器代替対象）
- 人手処理（上記以外）

<セルフSSの場合>



製品カテゴリ

登録製品数 対象業種

対象業務プロセス

J

タブレット型給油許可システム

5件

小売業（ガソリンスタンド）

給油

2024年7月26日時点

製品カテゴリの概要

セルフSSにおいて、来店客に対して行う給油許可行為をSS事務所内システム（固定式）とタブレット型システムを連動させることにより、タブレット型給油許可システムを用いて、事務所内に限らずSS敷地内であれば給油を許可することが可能となるシステム。

主に利用が想定される中小企業

主に給油許可専用のスタッフを事務所内に常駐させていたセルフSSの事業者。

省力化効果

SS事務所でしかできなかった給油許可が、事務所内に限らずSS敷地内であれば可能となることで、オイル・タイヤ交換等の作業中であっても迅速に給油許可が出せるので作業効率が向上する。給油許可専用のスタッフを事務所内に常駐させる必要がなくなることで、給油許可以外の業務に従事させることができるなど人時生産性の向上による省力化が可能となる。

価格と導入費用（目安）

数百万円程度で導入可能。ビーコン等の設置および導入後の設定を行えばすぐに使用可能。

活用事例・ポイント

- メーカーヒアリングによる既存導入事例では、一般的なセルフSSにおいて、1か月あたり0.5人程度の省力化効果が得られた。

（製品イメージ）（例）



PD-00000068

SSCモバイルシステム

型番 SSC-M2B7A
製造事業者 株式会社タツノ
所属カテゴリ タブレット型給油許可システム

業種・業務プロセス(業務領域)	業種	業務プロセス(業務領域)
	小売業	給油

製造事業者の製品ページ



販売事業者一覧を確認



機器詳細は下記を参照してください

https://shoryokuka.smrj.go.jp/product_catalog/detail.html?num=PD-00000068